

令和2年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	①生徒一人ひとりに応じた指導と生徒の主体性を育む学習指導を推進する。 ②福祉マインドを培う教育活動を推進する。	①公開研究授業等において、全職員で教科横断的な授業の構築を目指す等、生徒の学力向上を踏まえた新教育課程を編成する。 ②福祉マインドの育成に向けて、近隣の横浜市立日野中央特別支援学校との相互連携により「総合的な探究の時間」の内容を充実させ、障がい者理解につなげる。	①公開研究授業の担当教科を順番に割振り教科の偏りをなくすことにより、幅広い視点から授業研究に取り組む。 ①新教育課程編成指針の具体策に基づいた教育課程を編成する。 ②総合的な探究の時間において、課題設定に向けて市立日野中央特別支援学校との相互連携により内容を充実させる。	①教職員が社会との繋がりがりや幅広い視点を意識して授業研究に取り組んだか。 ①新教育課程を編成することができたか。 ②連携により、内容を充実することができたか。
2	生徒指導・ 支援	豊かな人間性と社会性を育み、生徒一人ひとりの個に応じた支援体制の充実を図る。	①日頃から授業へ臨む姿勢やSNS等への注意喚起を通し、規範意識の醸成を図るとともに、支援を必要とする生徒のための教育相談体制を充実させる。 ②3学期制移行後の学校行事を、生徒が主体的に企画・運営を行う行事へと確立する	①課題や提出物を効果的に使い、授業中や家庭での学習に積極的に取り組むことができる状況を作る。 ①SNS等、インターネットを利用する際のルールを生徒に周知徹底する。 ①スクールカウンセラーによる教育相談に関する校内研修会を実施する。 ②デジタル通信を活用することで、生徒・学級の意見を反映しやすくし、生徒会および学級・学年、部活動の連携を強化する。	①各教科の提出物等の提出状況が向上したか ①インターネット利用に関するトラブルが防止できたか。 ①教職員が生徒の支援に必要な知識や技術を身に付け、教育相談体制の構築に結び付けることができたか。 ②学校行事において、デジタル通信を活用することができたか。
3	進路指導・ 支援	①生徒の主体的な活動を通して、進路実現・自己実現を果たす力を育成する。 ②進路指導計画の充実を図る。	①1年次より生徒が自己実現に向けて、学び実践する場を提供し進路を自ら切り開く姿勢を育成する。 ②大学入試変革に対応した進路指導及び調査書作成を実践する。	①総合的な学習（探究）の時間等で進路別ガイダンスを行う等生徒の進路実現へ向け計画的なキャリア教育に取り組む。 ②大学入試制度の変革に係る情報を収集し、生徒へ情報を発信する。	①計画的にキャリア教育に取り組むことができたか。 ②情報を収集し、生徒に発信できたか。
4	地域等との 協働	地域との連携・協働を推進し、地域に信頼される学校づくりを進める。	①地域貢献活動及びボランティア活動を活性化させ、「ともに生きる」こころを育む。 ②年度当初より教職員・生徒の防災意識を高めるとともに、地域区町と連携した防災体制を構築する。	①ボランティア委員会で地域と連携した活動等に取り組む。 ①学年別に実施する地域清掃を年間計画に位置付け、地域の実態に応じて有効な清掃計画を企画・実施する。 ②1学年災害図上訓練を4月に実施し、生徒の防災意識を高める。また、地域と連携した防災訓練に積極的に参加する。	①地域の活動等に多くのボランティア委員が貢献することができたか。 ①学年別の地域清掃を効果的に効率よく実施することができたか。 ②地域の防災訓練に昨年度より多くの生徒や教員が参加できたか。
5	学校管理 学校運営	①生徒が安心して通える、安全で信頼される学校づくりを進める。 ②教員の働き方改革を推進するための教員の意識改革を図る。	①生徒の安全面に最大限配慮した環境を整備する。 ②タイムマネジメントを確立し、教員が健康で働きやすい職場づくりを推進する。 ③事故・不祥事防止について教員の意識を高める	①感染症予防のため、手洗い・うがい・咳エチケット等の指導をし、生徒に定着させる。可能な限り消毒液による校内清掃に取り組む。 ①きめ細かな清掃活動をとおして学校施設及び備品の状況に常に目を配り、事故防止に努める。 ①災害時の安全に配慮した避難訓練や下校訓練を企画・実施する。 ③事故防止に対する意識を高めるような研修会を実施する。	①感染症予防の習慣が生徒に浸透したか。 ①清掃用具の充実及び清掃活動徹底により安全な学校設備を維持することができたか。 ①訓練時に、生徒は安全を意識して行動することができたか。 ③教職員の事故防止への意識が高まったか。

